

都立鷺宮高等学校同窓会

紫明会会報

令和5年(2023年) 6月号



令和5年(2023年)前期の紫明会活動

1. 役員会
2. 令和4年度(第75回)卒業式(3月8日)
3. 令和5年度(第78回)入学式(4月7日)
4. 紫明会総会(5月14日)
5. 校内整備・緑化支援
6. 特集記事
7. 今後の予定

紫明会役員(2023年～)

会長

柏木 ルツ (S50年)

副会長

芳賀 浩 (S40年)

木内 徹 (S49年)

総務

赤松 弘久 (S50年)

井上 伸一 (S58年)

会計

鈴木千枝子 (S50年)

島野 光貴 (H18年)

会報・広報

清水 正 (S38年)

木内 徹 (S49年)

ホームページ

鈴木 重徳 (S54年)

宮内 健 (H15年)

島野 光貴 (H18年)

監事

赤松 弘久 (S50年)

※括弧内は卒業年



今年度役員

紫明会総会の会場にて(2023年5月14日)

1. 役員会(1月~6月)

令和5年(2023年)前期の役員会

1. 1月21日(鷺高内会議室)
 - ① 寄付金公募の状況報告
 - ② 卒業式での新入会員勧誘策の検討
 - ③ 期末決算の確認検討
 - ④ 会報誌の取組みの検討
 - ⑤ 今後の諸活動の構想検討

2. 2月18日(鷺高内会議室)
 - ① 卒業生への配布資料の準備
 - ② 卒業式予行時の勧誘プレゼン準備
 - ③ 先月の①、③~⑤の継続検討

3. 3月18日(杉並区八成集会所)
 - ① 卒業式参加の報告(会長)
 - ② 寄付金公募の状況報告
 - ③ 5月の総会時の資料検討
 - ④ 今後の諸活動の枠組みの策定

4. 4月15日(鷺高内会議室)
 - ① 監査役会の開催
 - ② 現状の財政内容の状況確認
 - ③ 総会時の資料の最終確認
 - ④ 総会運営と役割分担の確認
 - ⑤ 鷺高祭(9月)参加企画の検討

5. 5月14日(中野サンプラザ内)
 - ① 総会の開催(別頁に掲載)
 - ② 懇親会(茶話会)

6. 6月10日(鷺高内会議室)
 - ① 学校(校長)との面談内容報告
 - ② 鷺高祭での展示内容検討
 - ③ 同窓生の講演会企画の検討
 - ④ 6月発行の会報誌内容検討
 - ⑤ 新規会員の入会状況



1月21日の役員会(鷺高内会議室)

2. 令和4年度(第75回)卒業式(3月8日)

令和5年3月8日に開催された第75回卒業式に関する報告は、紫明会HP上で既に掲載済みですので、そちらをご参照下さい。ここでは、卒業式の予行に関する写真や卒業生に配布した資料等を紹介します。

 [卒業式報告\(紫明会HP\)](#)

1. 3月7日の予行

卒業式の前日に、体育館に集合した卒業生達の式次第の予行が行われ、ハッピーを着てノボリを掲げた紫明会の役員達が予行の最後に登壇し、柏木会長がお祝いの挨拶と共に紫明会の説明、入会案内を行いました。



〔柏木会長の挨拶概要〕

卒業、おめでとうございます。私たちは鷺高同窓会、紫明会のメンバーで、昨年の夏頃から、創立110周年の記念樹を植える為の準備として校内の整備のお手伝いで、ちよくちよく校内を徘徊していました。今後、卒業生となられる皆様にも、母校の未来の為の活動を担って貰いたいと思っていますので、是非とも紫明会への入会をお願いする次第です。よろしくお願いいたします。



予行後の体育館前にて

2. 卒業生達への配布資料

予行の後、卒業生達には、入会勧誘案内状、紫明会リーフレット、返信ハガキ等が渡されました。昨年の鷺高祭のときは在校生向けのリーフレットを作成しましたが、今回は卒業生向けのリーフレットを作成しました。

都立鷺宮高等学校同窓会(紫明会)

令和5年(2023年)3月8日





卒業生の皆様へ

この度はご卒業、おめでとうございます。
保護者の皆様には心よりお祝いを申し上げますと共に、校長先生ならびに先生方のご功勞に対し、あらためて敬意を表したいと存じます。
鷺宮高校での3年間、卒業生の皆様は多くの学びと経験をされたと思います。その中で貴重な出会いもたくさんあったのではないのでしょうか。私たち同窓会も、今年度の創立110周年を機に、記念樹を植えさせていただくという大きな役割をいただくことが出来ました。その準備のため、校庭で草むしりなどを行っているときに、皆様から「こんにちは」と声をかけていただいたことは、何より嬉しい体験でした。卒業した後も、母校のために何かするというのが、自分にとっても大きな意味のあることだと実感した瞬間でもありました。
卒業生の皆様には鷺宮高等学校同窓会の「紫明会」に加わっていただき、共に同窓生として母校の発展の一翼を担っていただけると願っております。

会長 柏木 ルツ 昭和50年(1975年)卒業




「紫明会」の由来

鷺宮高校は、創立から17年後の昭和4年(1929年)に「府立高等家政女学校」となり、その後に旧校歌が制定されると共に、「紫明会」と呼称された「府立高等家政女学校 校友会」(学校が運営する校内活動の総括組織)による雑誌「紫明」が創刊されました。雑誌「紫明」中には、「紫明同窓会」という記述もありました。
戦後、都立高校になった鷺高には、「校友会」に代わって生徒達が自治的に運営する生徒会が設立され、本校の同窓会も「校友会」の呼称を引き継ぐように「紫明会」となったようです。「紫明」の名は、旧校歌の歌詞の一番中の「紫草」、二番中の「明るく清く」から取ったものと言われています。その旧校歌の歌詞は、唱歌「春の小川」、「春がきた」、「ふるさと」等で著名な高野辰之博士(旧東京音楽学校教授)の作詞でした。
〔創立100周年記念誌より〕

鷺高で飼っていた犬、2代目「太郎」
(1975年頃)

都立鷺宮高等学校同窓会(紫明会)

紫明会の活動(2022年)

令和5年(2023年)3月8日

野球部応援(7月)



記念植樹(11月)



鷺高祭(9月)



球根植付け(12月)



「紫明会」では、今後も在校生や教職員の皆さん、そして卒業生の皆さんと一緒に、校内の緑化活動や部活の応援活動を行っていきたくと考えています。

紫明会への参加のお願い

鷺高を卒業された皆さんは、やがて社会人や家庭人として各々の路に進めますが、高校時代の学友達、先生方、諸先輩との絆は人生の大きな糧になり得ます。「紫明会」はその絆の一助になるような諸活動を展開していきます。「紫明会」への入会を心よりお待ちしております。

連絡先

紫明会ホームページ

<https://sagikoshimeikai.com>



同期会、クラス会の開催時に...

紫明会ホームページ内には、卒業生の同期会やクラス会の予定や開催状況を告知できるページがありますので、ご利用ください。

リーフレット 2頁目

御卒業おめでとうございます!

皆さまが今日という日を迎えられたこと本当にうれしく思います。
3年前は新型コロナウイルス流行の真っただ中、いろいろと制限のあった中での御入学でした。
登校することもままならず、授業・部活動・学校行事が中止や延期になり、思い描いていた学校生活とはかけ離れたスタートだったのではないかと思います。
そんな中でも少しずつ行動制限が緩和され、我々も皆さんの元気な姿が戻ってきたのを嬉しく思っていました。

4月からはそれぞれの新しい路を邁進して行くことと思います。
コロナ禍もいまだ収まったとは言いきれず、まだまだ苦しいこと、大変なこともあると思いますが、
しかし、その先にはきっと楽しいこと、うれしいことがいっぱい待っています。
私たちも陰ながら皆さまを応援しています。
3年間西武線を、都立家政駅をご利用頂き、ありがとうございました。

皆さまのご活躍を祈念しております!

西武鉄道株式会社 都立家政駅社員一同

令和五年三月八日(水) 日直

翌日の卒業式の日、都立家政駅には駅社員の方々からの祝辞が掲示されていました。



校内の梅の木(3月8日)

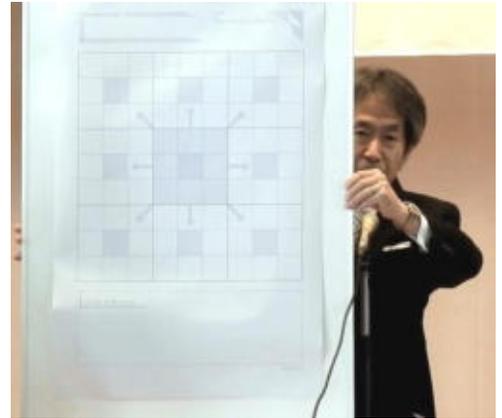
3. 令和5年度(第78回)入学式(4月7日)

午前10時から体育館で始まった入学式は、新入生が保護者席の間を歩いて入場した後、国歌斉唱、入学許可、校長式辞、新入生代表宣誓、教育委員会挨拶、来賓祝辞、来賓紹介・祝電披露、教職員紹介、校歌紹介の順に進められ、1年生として277名が入学しました。紫明会の柏木会長は来賓として紹介されました。



新入生入場

入学許可では、1組～7組の全新生の氏名が読み上げられ、入学許可が宣言されました。その後、校長先生からは、「鷺高の4C」(挑戦、協調、信頼、創造)のうち特に「挑戦」について、WBCで活躍した大谷選手が高校時代から活用している「マンダラチャート」を例示して、高い目標を設定して大いに挑戦して欲しい、との式辞がありました。引き続き、新入生代表宣誓、教育委員会挨拶、来賓のPTA会長の祝辞がありました。



紫明会からの
祝電内容



紫明会・柏木会長

その後、1年生の1組～7組の各々を担当する教諭が紹介され、音楽選択の在校生がピアノ伴奏のもとで新入生と保護者に向けて校歌を斉唱しました。式後、新入生達は、体育館後方に組毎に並べられた保護者席の脇を通して、担任教諭を先頭に1組から順に体育館から退場していきました。



教職員紹介



校歌紹介

三 進む文化の 喜びこめて
築く校風 母校の誇
ああ鷺の宮 学びの庭に
新しき いきほひ満てり
我ら我ら さきがけてゆく
意気の学園 榮よ永遠に

二 薫るそよ風 木立のかけに
ちかふ友情 平和の理想
ああ鷺の宮 仰げばはるか
武蔵野の 雲みな若く
我ら我ら 青春の朝
歌へ健康 讚えよ力

一 みどりはるかに 寄せくる光
希望あふれて 高鳴る想い
ああ鷺の宮 花咲く窓に
かがやけり 叡智の瞳
我ら我ら 夢多き子の
自治の学園 こころの故郷

校歌



校旗



4. 紫明会総会 (5月14日)

総会の審議内容等の報告は5月22日に紫明会HP上に掲載済みですが、紫明会の主要行事ですので、再度掲載します。

 [2023年紫明会総会の報告\(紫明会HP\)](#)

審議事項

1. 第一号議案：令和4年(2022年)度活動報告の件(報告事項)
特に質問はなく報告を終了した。(柏木)
2. 第二号議案：令和4年(2022年)度会計報告の件(決議事項)
特に質問はなく可決・承認された。(鈴木千、赤松)
3. 第三号議案：令和5年(2023年)度活動計画案の件(決議事項)
特に質問はなく可決・承認された。(芳賀)
4. 第四号議案：令和5年(2023年)度収支予算案の件(決議事項)
特に質問、意見はなく可決・承認された。(芳賀)
5. 第五号議案：会則改訂の件(決議事項)
特に質問、意見はなく可決・承認された。(井上)

総会終了時、柏木会長より来場した同窓生に対して、総会への出席に改めて謝意を表明し、紫明会の昨年度の活動がHPに掲載されていること、今年度も活動の詳細を掲載するので、引き続きHPを参照願いたいことを要請しました。コロナ禍が一段落したので、鷺高祭への参画を企画していること、懸案の新入会員の確保に対しても全力を傾注して行くことを表明しました。また中野サンプラザの閉館に伴って、次年度以降の総会の日時や場所等を現在鋭意検討中であり、決まり次第HPに掲載することを伝えました。最後に、引き続き学校側と緊密に連携を取り、紫明会の存在感を訴求することを約して挨拶を終えました。総会の後、同じ会場で同窓生と役員による懇親会を開催し、同窓生からは紫明会の活動に関する様々なご意見を頂きました。



懇親会(中野サンプラザ研修室)

5. 校内整備・緑化支援

昨年に引き続き、今年も役員や同窓生達による校内緑化支援活動を行いました。主な日程と作業内容は以下の通りです。なお、ゲーテの森の整備は学校の用務員と在校生が中心になって進めています。

- ・ 2月 3日 : 在校生とチューリップ球根のプランターへの植え込み
- ・ 2月18日、25日 : 正門前の楠木下の土壌掘り起こし
- ・ 3月 4日 : 正門前の楠木下に初雪カズラ植え込み
- ・ 3月17日、29日 : つつじ移設作業、除草、各種花の植栽
- ・ 4月 8日 : 除草、苗木と用具の購買
- ・ 4月14日 : 除草、剪定とペチュニア植え込み
- ・ 4月21日 : 土壌入れ替えと除草
- ・ 5月 1日 : 正門前の楠木下と駐輪場脇の花壇にヒマワリの種の植え込み
- ・ 5月 9日 : 記念樹付近の花壇拡張の為のツツジの根切り、除草
- ・ 5月20日 : ツツジの根切り、ヒヤシンスの球根掘り起こし、除草
- ・ 6月 6日、10日 : チューリップ球根の掘起し
- ・ 6月16日、17日 : ヒマワリ、さつき周辺の除草、ツツジ剪定、ヒマワリ支柱付け

緑化支援に参加して頂いた同窓生(敬称略)

田中(S50年卒)、佐久間(S48年卒)、久米田(S50年卒)、武田(S50年卒)、尾本(S47年卒)、本間(S54年卒)

今後の予定

- ・ 裏門周辺の除草、校庭南の道路側敷地の整備
- ・ 南側校舎とグラウンドの間の花壇の開墾、整備
(長期計画：校庭側の校舎前に藤棚等の設置を検討)



昨年12月のチューリップ球根の植え付け(正門横の花壇)



卒業式前の3月4日に正門の楠木の下の花壇に初雪カズラを植えました。在校生がプランターに植えたチューリップも芽吹きました。卒業式の日(3月8日)には校舎東側で梅が咲き誇っていました。



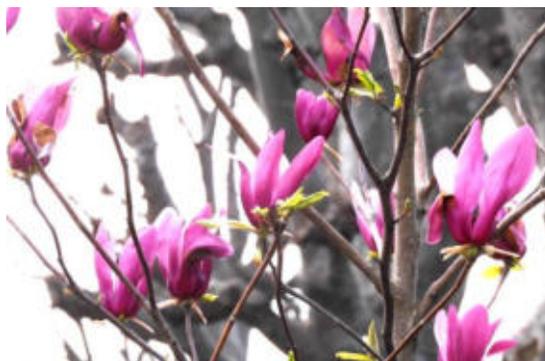
チューリップが咲き始め、記念樹の前ではスイセンが咲き誇っていました(3月20日)



記念樹(シモクレン)
に蕾が付きました
(3月20日)



ゲートの森には、在校生達の自発的な活動によって
ビオトープを造成するそうです(3月20日)



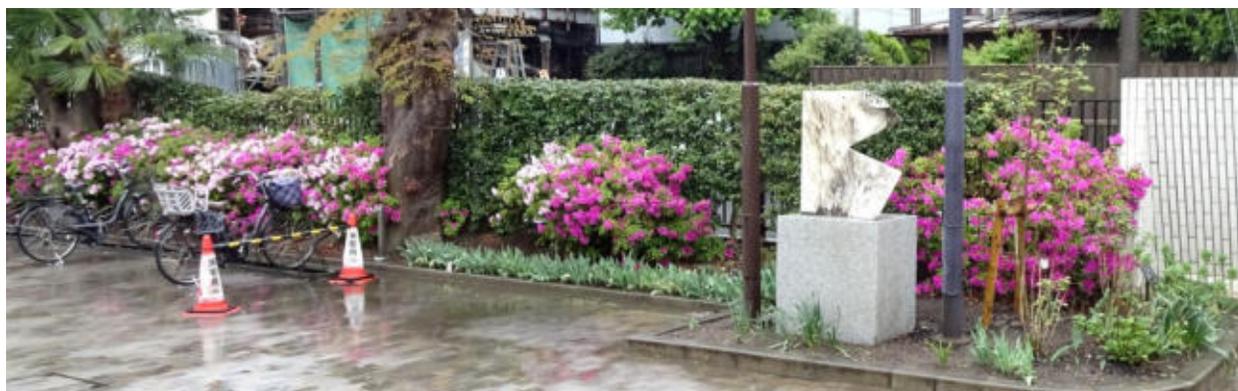
3月中旬から暖かい日が続いた為、正門横のチューリップや記念樹のシモクレンが例年より早く満開になりました(4月1日)



校舎横の桜(3月20日)



校庭南側では満開を過ぎた桜が散り始めていました(4月1日)



正門横から駐輪場に続く花壇ではツツジが満開になりました(4月15日)



5月27日



5月1日に正門前の楠木下に植えたヒマワリは順調に育っています(6月10日)



駐輪場の脇の花壇に植えたヒマワリ(5月27日)



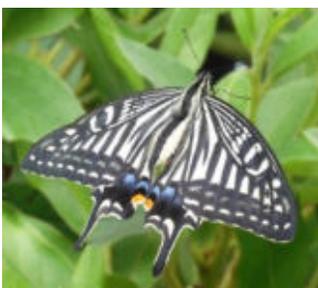
記念樹のアジサイ(5月27日)



モニュメントの後ろのコスモス(5月27日)



根切り剪定後のツツジ(5月27日)



旧講堂前にペチュニアの花壇を造りました(5月27日)

6. 特集記事

昨年の創立110周年を祝う紫明会からの記念樹寄贈を契機に、現在の土方校長のご理解のもとで校内への自由な立入りが可能となり、紫明会による緑化支援の活動も本格化しました。緑化支援は、53年前の昭和45年(1970)から約15年間に亘る本多啓二先生(故人)と生徒達による校内整備活動で綺麗になった校内を思い起し、コロナ禍の影響等で3年間ほど放置された校内を再び綺麗に整備することを目的にしています。校内整備に情熱を傾けた本多先生の思いが創立70年記念誌(1982年)に投稿されていまして、その一部を転記します。

国語科教諭 本多啓二

私の本校との出逢いは思えば偶然であった。それまでの私の生活は北海道にあった。荒涼とした原野の開拓地に生まれ、その後十八歳から九年間の青春は札幌の街に埋められている。

... ..

そんな私が、自由な明るい雰囲気にも包まれたこの鷺宮に拾われたのは幸運であった。赴任早々から数年間、夢中に環境整備の仕事にのめり込んでいったのはある意味で自然のなりゆきであった。ゴミ溜めようになっていた池を蘇えらせ、中庭に芝生を貼ることから始めて、作業の戦線は次第に校舎周辺全域に拡大していった。仕事は放課後から夜八時、九時に及ぶことも多かった。何人かの生徒が遅くまで一緒に働いて呉れた。生徒というより共に働く仲間であった。当時の給料の大部分は彼らの夕食代にとんだ。生徒と共に流す汗、たしかな連帯、そして咲く花を喜んでくれる生徒たち、共感を寄せてくれる先生たち、着実に美しくなっていく学校、これが鷺宮での私の喜びのすべてであった。

... ..

十代の心とは傷つき易いものだ。強さを装って振舞っても、それとは裏腹にヒリヒリと痛みを耐えている心がある。他に対して訴える術もない自己嫌悪に苦しんでいる。そんな彼らを包み込んでいる学校とは基本的には優しいものでなければならぬだろう。愛、信頼、そんなものが単に言葉として上滑りしているだけではだめだ。伸びやかな明るい笑いのさざめく場であって欲しい。ためらいがちな多様な試行錯誤が大胆になされる場であって欲しい。そしてそこには美しい花が咲いていた方がよいだろう。花咲き、小鳥さえずり、犬も戯れ、コンクリートで固められるよりも、やさしい緑に包まれた学校であって欲しい。



水漏れホースで散水する本多先生
(S50年卒 梶山氏撮影)



創立70年記念誌より



1973年撮影(木内)

7. 今後の予定

・ 学校行事

2023年9月9日(土),10日(日) 文化祭(鷺高祭)

*現時点で一般見学が可能になりましたので、紫明会も教室をお借りして写真展示、各種の書籍の設置、思い出の動画の上映を予定しています。詳細は8月頃の紫明会HP又は鷺高HPをご覧ください。同窓生の方々の多数のご来場をお待ちしています。

紫明会HP  <https://sagikoshimeikai.com>

鷺宮高校HP  <https://www.metro.ed.jp/saginomiya-h>

・ 紫明会の主な活動

2023年 7月15日(土) : 午後1時～ 沼袋区民活動センター(役員会)

2023年 9月 2日(土) : 午後2時～ 鷺高会議室(役員会)

2023年 9月 8日(金) : 鷺高祭の展示準備

2023年10月14日(土) : 午後2時～ 鷺高会議室(役員会)

2023年11月11日(土) : 午後2時～ 鷺高会議室(役員会)

* 緑化支援の活動日は不定期ですので、紫明会又は役員にお問い合わせください。

クラス会、部活のOB、OG会等の同窓生の集まりや活動などの情報(開催予定や実施報告等)をお寄せ下さい。ご相談の上、紫明会HPに掲載させていただきます。

募金のお願い

今後の紫明会活動の推進のため、大変心苦しい限りでございますが、皆様よりご寄付を賜りたくお願い申し上げます。出費多端な折、甚だ恐縮ではございますが、会員各位、皆様にご理解とご賛同を頂き、ご厚情を賜れば有難く存じます。募金は随時受け付けておりますので、下記アドレス宛にご連絡頂ければ、専用の振込用紙を郵送致します。

 info@sagikoshimeikai.com

会長 柏木ルツ(昭和50年卒)